

マイナンバーカード未取得・未申請の方へ

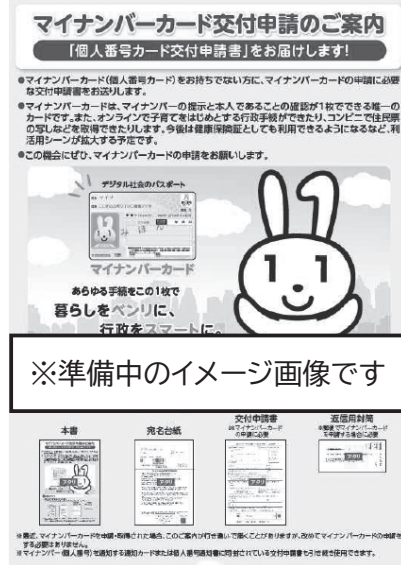
問合せ 町民福祉課 戸籍担当 ☎0495-77-2112 FAX0495-77-2117

マイナンバーカードの交付申請書が改めてご自宅に届きます

●申請書は誰に、いつ郵送されるの？

マイナンバーカードの未取得者のうち交付申請を行っていない方に、令和3年1月から3月頃にマイナンバーカードの交付申請書が、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）から順次転送不要の普通郵便で郵送されます（※ただし、令和2年中に個人番号通知書や交付申請書等の送付を受けた方（①、②）や、別途案内のある方（③）は重複してしまうため対象外となります。）。

- ① 75歳以上の方
- ② 令和2年中に出生、国外転入等された方
- ③ 中長期在留者（在留期限の定めのある外国籍の方）など



交付申請書を受け取ったら？

マイナンバーカードは、マイナンバーの証明や本人確認書類としても使えますので、申込みをご検討ください。郵送やインターネット等で申込み可能です（なお、交付申請書が改めて郵送されない方も、町民福祉課にて再交付できます）。申込方法や、交付申請書の再交付についての詳細は、同封されるパンフレットや広報かみかわ11月号（8ページ）をご覧ください。

マイナンバーカードの申込みの補助を町民福祉課・地域総務課にて行っています。ご希望の方は窓口にてお申し付けください。また、窓口での申込みの際に、本人が通知カード、住民基本台帳カード（お持ちの方）および本人確認書類※をお持ちいただくことで、本人限定受取郵便・特例型により自宅で郵便局員と対面して直接受け取ることができます。詳しい申込方法については町民福祉課まで、本人限定受取郵便・特例型については郵便局までお問合せください（郵便局ホームページにも掲載されています）。

【郵便局ホームページ】

※右記二次元バーコードもご参照ください。

https://www.post.japanpost.jp/service/fuka_service/honnin/



※本人確認書類

- 公的な顔写真つきのもの（運転免許証等） 1点
- 顔写真のないもの（保険証・年金手帳等） 2点

マイナンバーカードを受け取った後によくあるお問合せ

Q1. マイナンバーカードのパスワードを忘れてしまった。どうすればいいのか？

A1. マイナンバーカードとあわせて運転免許証などの本人確認書類※を原則ご本人様が、町民福祉課までお持ちいただくことで、再設定することができます（地域総務課ではできません）。

Q2. マイナンバーカードの電子証明書の有効期限切れの通知が届いたが、有効期限内に更新ができない場合は？

A2. 有効期限が切れても更新することができます。なお、有効期限が切れてしまうと、電子証明書を使った手続きができなくなりますので、ご注意ください。また、更新にはマイナンバーカードとマイナンバーカード交付時に設定していただいたパスワードが必要になります。

こんにちは 子育て相談窓口です

問合せ 子育て相談窓口 ☎0495-74-0205 FAX0495-77-2117

町では学校健診の一環で、埼玉医科大学病院歯科口腔外科の歯科医師にご協力いただき、^{がくかんせつ}顎関節について専門的に健診を行っています。今回は、小学生・中学生の頃から症状が出始めることもあるあごの病気について、同 診療部長 佐藤 毅先生から教えていただきます。

子供の頃から口が開かなくなる病気「咀嚼筋腱・腱膜過形成症」とは？

笑ったり、あくびをした時など、あごが痛い…、開きにくい…と感じたことはありますか？

多くは顎関節症という病気ですが、それ以外に、痛みを伴わない「咀嚼筋腱・腱膜過形成症」という病気があります。この病気は、咀嚼筋の腱が異常に太く厚くなってしまいます。そのため、口を開けたときに筋肉は伸びますが、腱は伸びないので十分に口が開かなくなってしまいます。

小学生、中学生の頃から口の開き具合が十分ではなく、徐々に進行していくと考えられています。

町では学校健診で、2009年から2016年の8年間、町内の小学校と中学校の児童生徒、のべ7345名の顎関節および咀嚼筋の状態を調査しました。その結果、将来的に「咀嚼筋腱・腱膜過形成症」を発症する可能性がある予備群を含めた割合は1.8%（100人に1～2人）であることが明らかになりました。この病気は、決して珍しい病気ではないことが判明したのです。



「咀嚼筋腱・腱膜過形成症」の診断は、口が開きにくいという症状がある他の病気との鑑別が重要です。診断には問診・触診以外に、CT、超音波装置、MRIなどの画像検査が必要です。この病気を専門的に治療している施設は限られており、口が開きにくくて、筋肉やあごの痛みがない場合は、大学病院での精密検査が良いと思います。治療は外科的治療が最も有効です。



お子さんが、口があまり開けられないと感じている場合は、「咀嚼筋腱・腱膜過形成症」の可能性があるので、一度かかりつけ歯科医にご相談ください。

